

ディーゴ ガイド



2026.8.3-9

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(1~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

3日 月曜

エゼキエル



「私が私たちの主であることを明らかになさるので、私たちはどんなときも神様を従うべき主として歩む必要があります。」それが創られた者の、そして救っていただいた者の当然の生き方です。

34:25 わたしは彼らと平和の契約を結び、悪い獣をその地から取り除く。彼らは安らかに荒野に住み、森の中で眠る。

34:26 わたしは、彼らにも、わたしの丘の周りにも祝福を与え、時に becoming 雨を降らせる。それは祝福の雨となる。

34:27 野の木は実を実らせ、地は産物を生じ、彼らは心安らかに自分たちの土地にいるようになる。わたしが彼らのくびきの横木を砕き、彼らを奴隷にした者たちの手から救い出すとき、彼らは、わたしが【主】であることを知る。

34:28 彼らは二度と国々の餌食とならず、その地の獣も彼らを食い殺さない。彼らは安らかに住み、もう彼らを脅かす者はいない。

34:29 わたしは彼らのために立派な耕作地を開く。彼らは、再びその地で飢饉にあうこともなく、再び国々の侮辱を受けることもない。

34:30 このとき彼らは、わたしが、彼らとともにいる彼らの神、【主】であり、彼らイスラエルの家がわたしの民であることを知る——【神】である主のことば——。

34:31 あなたがたはわたしの羊、わたしの牧場の羊である。あなたがたは人間で、わたしはあなたがたの神である——【神】である主のことば。」

かつては神様への反逆からその身に苦難を招いたときに、「わたしが主であることを知る」と語られたイスラエルの民でしたが、それがここでは「安らかに住み、祝福の雨」が与えられたことで「主であることを知る」と言っています。

主は私たちにも同じであって、苦難のときに自分を顧みることを求め、また恵みのときには感謝をすることを求めています。それらは常に神様こ

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4日 火曜

エゼキエル



35:1 次のような【主】のことばが私にあった。
35:2 「人の子よ。セイルの山に顔を向け、これについて預言せよ。
35:3 【神】である主はこう言われる。セイルの山よ。わたしはおまえを敵とする。わたしはおまえに手を伸ばし、おまえを全き荒廃の地とする。
35:4 わたしがおまえの町々を廃墟にし、おまえを荒れ果てさせるとき、おまえは、わたしが【主】であることを知る。
35:5 おまえはいつまでも敵意を抱き、イスラエル人の災難の時、すなわち彼らの最後の刑罰の時、彼らを剣の力に引き渡した。
35:6 それゆえ——【神】である主のことば——わたしは生きている。わたしは必ずおまえを血に渡す。血はおまえを追う。おまえは血を憎むことがなかった。だから、血がおまえを追いかける。
35:7 わたしはセイルの山を全くの廃墟とし、そこから人の往来を絶つ。
35:8 わたしはその山々を、刺し殺された者で満たし、おまえの丘、谷、すべての谷川に、剣で刺し殺された者たちが倒れる。
35:9 わたしはおまえを永遠に荒れ果てさせる。おまえの町々には住む者がいなくなる。そのときおまえたちは、わたしが【主】であることを知る。
35:10 おまえは、『これら二つの民、二つの国は、われわれのものだ。われわれはそれを占領しよう』と言った。しかし、そこには【主】がいたのである。
35:11 それゆえ——【神】である主のことば

——わたしは生きている。わたしは必ずおまえを罰する。おまえが憎しみから彼らに対してふるまったのと、同じほどの怒りとねたみをもって。わたしがおまえをさばくとき、わたしは彼らに対して自らを現す。
35:12 そのときおまえは、わたしが【主】であることを知る。わたしは、おまえがイスラエルの山々に向かって『これは荒れ果てて、われわれの餌食となった』と言って侮辱したのをすべて聞いている。
35:13 おまえたちはわたしに向かって豪語し、わたしに向かってことばを重ねたが、わたしはそれを聞いている。
35:14 【神】である主はこう言う。全地が喜ぶほどに、わたしはおまえを荒れ果てさせる。
35:15 おまえは、イスラエルの家のゆずりの地が荒れ果てたことを喜んだが、わたしはおまえに同じようにする。セイルの山よ。おまえは荒れ果て、エドム全体もそうなる。そのとき彼らは、わたしが【主】であることを知る。」

セイルの山とはエドムの領地です。エドムとはヤコブの兄エサウの子孫であり、イスラエルに敵対し続けた民族です。その様子は5節以降に記されています。神様はご自分の民を懲らしめることもあります。それは神の真理と愛を悟らせるためです。ですからご自分の民を陥れるようなものにはただではおかないのです。クリスチャンへの愛も同じです。

「わたしが主であることを知ろう。」とありますから、すべてはご自身の栄光を知らしめるためです。それは神に従う者がひとりでも起こされるためです。

私たちも主の守りと愛を謳歌しつつ、主に従い、また主の栄光を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 水曜

エゼキエル



36:1 「人の子よ、あなたはイスラエルの山々に預言せよ。イスラエルの山々よ、

【主】のこたばを聞け。

36:2 【神】である主はこう言われる。敵がおまえたちに向かって『あはは、昔からの高き所がわれわれの所有となった』と言っている。

36:3 それゆえ、預言せよ。【神】である主はこう言われる。おまえたちは周りの民に荒らされ、踏みつけられ、ほかの国々の所有とされた、まさにその理由で、おまえたちは人々の語りぐさとなり、そしりの的となった。

36:4 それゆえ、イスラエルの山々よ、【神】である主のこたばを聞け。【神】である主はこう言われる。山や丘、谷川や谷、荒れ果てた廃墟、また、ほかの周囲の国々にかすめ奪われ、嘲られて見捨てられた町々に向かって。

36:5 それゆえ、【神】である主はこう言われる。わたしは燃えるねたみをもって、ほかの国々とエドム全土に告げる。彼らは心の底から喜び、思い切り嘲って、わたしの国を自分たちの所有とし、牧場をかすめ奪ったのだ。

36:6 それゆえ、イスラエルの地について預言し、山や丘、谷川や谷に向かって言え。

【神】である主はこう言われる。見よ。おまえたちが国々の侮辱を受けてきたので、わたしはねたみと憤りをもって告げる。

36:7 それゆえ、【神】である主はこう言われる。わたしは手を上げて厳かに誓う。おまえたちを取り囲む諸国の民は、必ず恥辱を負う。

36:8 だが、おまえたち、イスラエルの山々よ。おまえたちは枝を出し、わたしの民イスラエルのために実を結ぶ。彼らが帰って来るのが近いからだ。

36:9 というのは、わたしがおまえたちのところに行き、おまえたちのところに向かうからだ。おまえたちは耕され、種を蒔かれる。

36:10 わたしはおまえたちの上、イスラエルの全家に人を増やす。町々は住む所となり、廃墟は建て直される。

36:11 わたしはおまえたちの上に人と家畜を増やす。彼らは増えて、多くの子を生む。わたしはおまえたちを、昔のように人の住む所とし、以前よりも栄えさせる。そのときおまえたちは、わたしが【主】であることを知る。

36:12 わたしはおまえたちの上に人を、わたしの民イスラエルを歩かせる。彼らはおまえを所有し、おまえは彼らの相続地となる。おまえは二度と彼らに子を失わせることはない。

36:13 【神】である主はこう言われる。彼らはおまえたちに、『おまえは人間を食らい、自分の国民に子を失わせている』と言っている。

36:14 それゆえ、おまえは二度と人間を食わず、二度とおまえの国民に子を失わせることはない——【神】である主のこたば——。

36:15 わたしは二度と国々の侮辱をおまえに聞こえさせない。おまえは国々の民のそしりを二度と受けない。二度とおまえの国民をつまずかせることはない——【神】である主のこたば。」

不信仰、神への反逆によって荒れ果てたイスラエルが、やがて再興されると預言されます。神様はその義のゆえに、さばきを行われますが、また

その愛のゆえに回復をも与えてくださいます。

「山々に預言せよ」とは意外な表現ですが、これはイスラエルを取り囲む環境と、みわざの結果についての預言であると考えられます。これは主のみわざがイスラエルの人々だけではなく、大きな現象になって動かされることを思わせませう。

私たちも時には、自分の身に起こるだろうかと疑問に思うこともありますが、主のみえわざは大きなスケールで起こるのだということをしりましょう。そして主の全能を思って主に期待しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 木曜

エゼキエル



36:16 次のような【主】のことばが私にあった。

36:17 「人の子よ。イスラエルの家が自分の土地に住んでいたとき、彼らはその生き方と行いによって、その地を汚した。その生き方は、わたしの前では、月のさわりのある女の汚れのようであった。

36:18 それでわたしは、彼らがその地に流した血のために、また偶像でこれを汚したことのゆえに、わたしの憤りを彼らに注いだ。

36:19 わたしは彼らを諸国の間に散らし、彼らを国々に追い散らし、彼らの生き方と行いにしたがって彼らをさばいた。

36:20 彼らはどの国々に行っても、わたしの聖なる名を汚した。人々は彼らについて、『この人々は【主】の民なのに、主の国から出されたのだ』と言ったのだ。

36:21 わたしは、イスラエルの家が行った国々の間で汚した、わたしの聖なる名を惜しんだ。

36:22 それゆえ、イスラエルの家に言え。

【神】である主はこう言われる。イスラエルの家よ。わたしが事を行うのは、あなたがたのためではなく、あなたがたが行った国々の間であなたがたが汚した、わたしの聖なる名のためである。

36:23 わたしは、あなたがたが国々の間で汚したわたしの大きな名が、聖であることを示す。あなたがたが彼らのただ中で汚した名である。わたしが彼らの目の前に、わたしがあなたがたのうちに聖であることを示すとき、国々は、わたしが【主】であることを知る——【神】である主のことば——。

36:24 わたしはあなたがたを諸国の間から導き出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。

36:25 わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよくなる。わたしはすべての偶像の汚れからあなたがたをきよめ、

36:26 あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を与える。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。

36:27 わたしの霊をあなたがたのうちに授けて、わたしの掟に従って歩み、わたしの定めを守り行うようにする。

36:28 あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住み、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。

36:29 わたしはあなたがたをすべての汚れから救い、穀物を呼び寄せて増やし、飢えをあなたがたに送らない。

36:30 わたしは木の実と畑の産物を増やす。それであなたがたは、もう国々の間で飢饉のために恥辱を受けることはない。

36:31 あなたがたは自分たちの悪しき生き方と、良くなかった行いを思い出し、自分たちの不義と忌み嫌うべきわざを憎むようになる。

イスラエルが神の民であるのは、その選びのゆえです。そしてまた私たちも神様から救い選ばれている者です。神さまに懲らしめを受けて、さばかれているように感じるときでも、神様の愛は全く変わっていません。その愛を信頼し、安心して主に立ち返り、信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 金曜

エゼキエル



36:32 わたしが事を行うのは、あなたがたのためではない——【神】である主のことば——。そのことをあなたがたは知っていなければならない。イスラエルの家よ、恥じよ。あなたがたの生き方のゆえに辱めを受けよ。」

36:33 【神】である主はこう言われる。「わたしがあなたがたをすべての不義からきよめる日に、わたしは町々を人の住めるところとし、廃墟は建て直される。

36:34 荒れ果てた地は、通り過ぎるすべての者に荒れ野と見なされていたが、耕されるようになる。

36:35 このとき、人々はこう言うだろう。
『あの荒れ果てていた地はエデンの園のようになった。廃墟となり、荒れ果て、破壊されていた町々も城壁が築かれ、人が住むようになった』と。

36:36 あなたがたの周りに残された諸国の民も、【主】であるわたしが破壊されていたところを建て直し、荒れ果てていたところに木を植えたことを知るようになる。【主】であるわたしが語り、これを行う。」

36:37 【神】である主はこう言われる。「わたしはイスラエルの家の求めに応じ、このことを彼らのためにする。わたしは人を羊の群れのように増やす。

36:38 ちょうど、聖なるものとして献げられる羊の群れのように、例祭のときのエルサレムの羊の群れのように、廃墟であった町々を人の群れで満たす。そのとき彼らは、わたしが【主】であることを知る。」

それは「あなたがたのためではない」と明言されています。回復は主の大いなる名のためなのです。私たちはそこを勘違いしないようにしましょう。

救われ、この世にあっても守られ、与えられ、成功し、前進できていますが、それらは私たちの力ではないのです。

人は誰も「恥よ。」と言われなければならないような存在ですが、主はその名のゆえに恵みを与えてくださるのです。

またその回復の様子が様々に書かれていますが、このように神の回復のわざは具体的で確実なものです。自分自身には受ける資格はないと感じていても、主の大いなる名のゆえに主が具体的な回復や恵みを下さると信じて、主に従いつつ求めて行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

主によるイスラエルの回復が約束されています。



8日 土曜

エゼキエル



37:1 【主】の御手が私の上にあった。私は【主】の霊によって連れ出され、平地の真ん中に置かれた。そこには骨が満ちていた。

37:2 主は私にその周囲をくまなく行き巡らせた。見よ、その平地には非常に多くの骨があった。しかも見よ、それらはすっかり干からびていた。

37:3 主は私に言われた。「人の子よ、これらの骨は生き返ることができるだろうか。」私は答えた。「【神】、主よ、あなたがよくご存じです。」

37:4 主は私に言われた。「これらの骨に預言せよ。『干からびた骨よ、【主】のこたばを聞け。』」

37:5 【神】である主はこれらの骨にこう言う。見よ。わたしがおまえたちに息を吹き入れるので、おまえたちは生き返る。

37:6 わたしはおまえたちに筋をつけ、肉を生じさせ、皮膚がおおい、おまえたちのうちに息を与え、おまえたちは生き返る。そのときおまえたちは、わたしが【主】であることを知る。』」

37:7 私は命じられたように預言した。私が預言していると、なんと、ガラガラと音がして、骨と骨とが互いにつながった。

37:8 私が見ていると、なんと、その上に筋がつき、肉が生じ、皮膚がその上をすっかりおおった。しかし、その中に息はなかった。

37:9 そのとき、主は言われた。「息に預言せよ。人の子よ、預言してその息に言え。『【神】である主はこう言われる。息よ、四方から吹いて来い。この殺された者たちに吹きつけて、彼らを生き返らせよ。』」

37:10 私が命じられたとおりに預言すると、息が彼らの中に入った。そして彼らは生き返り、自分の足で立った。非常に大きな集団であった。

37:11 主は私に言われた。「人の子よ、これらの骨はイスラエルの全家である。見よ、彼らは言っている。『私たちの骨は干からび、望みは消え失せ、私たちは断ち切られた』と。

37:12 それゆえ、預言して彼らに言え。

『【神】である主はこう言われる。わたしの民よ、見よ。わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、イスラエルの地に連れて行く。』

37:13 わたしの民よ。わたしがあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げるとき、あなたがたは、わたしが【主】であることを知る。

37:14 また、わたしがあなたがたのうちにわたしの霊を入れると、あなたがたは生き返る。わたしはあなたがたを、あなたがたの地に住まわせる。このとき、あなたがたは、【主】であるわたしが語り、これを成し遂げたことを知る——【主】のこたば。』」

神様は具体的な幻によって、エゼキエルにイスラエル回復を宣言なさいました。骨が満ちていた状況からの回復は、私たちにとってはまさに最悪の状況からの回復です。もしも信仰を持ちきれなくても、祈り求めるなら、神様は幻のようなりアリティーのある答えて、私たちにも希望を与えてくださいます。主の希望を待ち望みましょう。

息とは霊の意味もありますから、「息に預言する」とは、聖霊に対して語ることです。預言とは神様からの御心を語ることです。ですから「息に預言する」とは、聖霊によって御心のまますを祈る

ことです。そのような祈りが起死回生の回復をもたらす希望となるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



37:15 次のような【主】のことばが私にあった。

37:16 「人の子よ。あなたは一本の杖を取り、その上に『ユダと、それにつくイスラエルの人々のために』と書き記せ。もう一本の杖を取り、その上に『エフライムの杖、ヨセフと、それにつくイスラエルの全家のために』と書き記せ。

37:17 その両方をつなぎ、一本の杖とし、あなたの手の中で一つとなるようにせよ。

37:18 あなたの民の者たちがあなたに向かって、『これがあなたにとって何を意味するのか、私たちに説明してくれませんか』と言うとき、

37:19 彼らに告げよ。『【神】である主はこう言われる。見よ。わたしは、エフライムの手にあるヨセフの杖と、それにつくイスラエルの諸部族を取り、それらをユダの杖に合わせて一本の杖とし、わたしの手の中で一つとする。』

37:20 あなたが書き記した杖を、彼らの見ている前で手に取り、

37:21 彼らに告げよ。『【神】である主はこう言われる。見よ。わたしはイスラエルの子らを、彼らが行っていた国々の間から取り、四方から集めて彼らの地に導いて行く。』

37:22 わたしが彼らを、その地、イスラエルの山々で一つの国とするとき、一人の王が彼ら全体の王となる。彼らは再び二つの国となることはなく、決して再び二つの王国に分かれることはない。

37:23 彼らは再び、その偶像や忌まわしいもの、またあらゆる背きによって身を汚すこと

はない。わたしは、彼らがかつて罪に陥ることになった背信から彼らを救い、彼らをきよめる。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。

37:24 わたしのしもべダビデが彼らの王となり、彼ら全体のただ一人の牧者となる。彼らはわたしの定めに従って歩み、わたしの掟を守り行う。

37:25 彼らは、わたしがわたしのしもべヤコブに与え、あなたがたの先祖が住んだ地に住むようになる。そこには彼らとその子らとその子孫たちが、とこしえに住み、わたしのしもべダビデが永遠に彼らの君主となる。

37:26 わたしは彼らと平和の契約を結ぶ。これは彼らとの永遠の契約となる。わたしはそれを彼らに与え、彼らを増やし、わたしの聖所を彼らのうちに永遠に置く。

37:27 わたしの住まいは彼らとともにあり、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

37:28 わたしの聖所が永遠に彼らのうちにあるとき、諸国の民は、わたしがイスラエルを聖なる者とする【主】であることを知る。』」

2本の枝はイスラエルとユダを表しますが、両者は分裂した関係でした。神様の回復がなされる時、それは単なる繁栄ではなく、本当の平和によるものでなければなりません。教会も家庭も夫婦もまた、クリスチャンのグループやミニストリーも内の平和と一致があって、初めて回復と繁栄が実現するのだと知しましょう。

23節以降はダビデ王による回復が述べられています。ダビデは、イスラエル（ユダと同意味）の人々が救い主を待望するために、ひな型として

その特徴を持った人物です。その背後には神様の導きがありました。

新約私たちは、救い主であるイエス様を表すことが求められています。聖霊によって主を交わるなら、喜び楽しみつつそれができるのです。新約のダビデであるイエス様の救いを確信し感謝しつつ、またダビデのようにイエス様の愛と真実を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

